

第5章 介護保険在宅サービス利用者調査

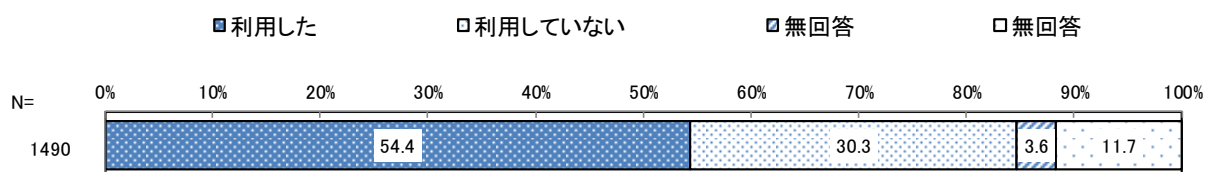
1. 現在利用している介護サービスについて

(1) 令和7年8月の介護保険サービス利用

①令和7年8月の介護保険サービス利用の有無

問16 令和7年8月の1か月の間に、住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスを利用しましたか。(○は1つ)

【図表 5-1-1 令和7年8月の介護保険サービス利用の有無】



令和7年8月の介護保険サービス利用の有無は、「利用した」が54.4%と最も高く、次いで「利用していない」が30.3%、「わからない」が3.6%となっている。

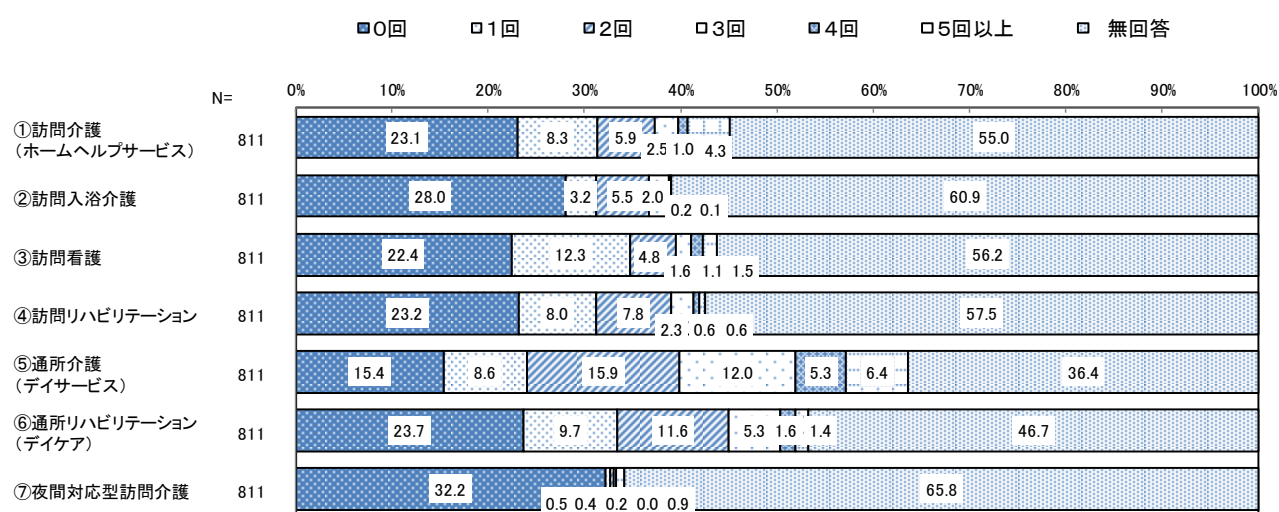
②令和7年8月の介護保険サービス利用状況

問16で「1」と答えた方にうかがいます。

問16-1 以下の介護保険サービスについて、令和7年8月の1か月間の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「利用していない（0回、利用していない）」を選択してください。

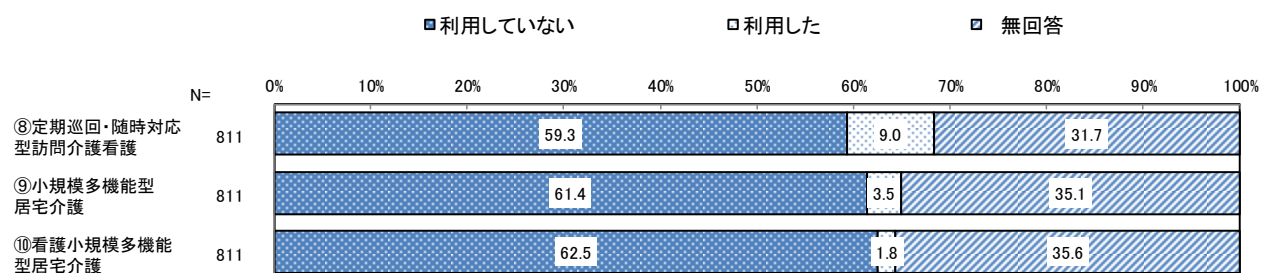
（1つのサービスにつき、○を1つ）

【図表 5-1-2 令和7年8月の介護保険サービス利用状況（1週間あたりの利用回数）】



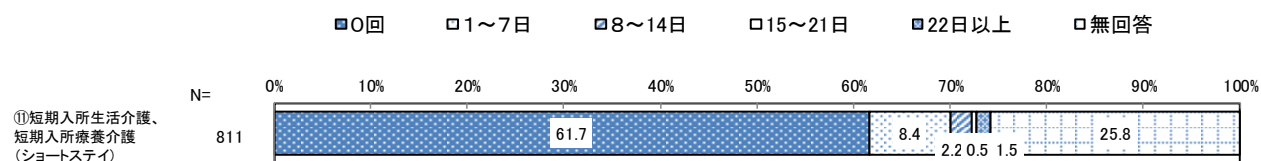
令和7年8月の介護保険サービス利用状況（1週間あたりの利用回数）をみると、『利用している』（「週1回程度」「週2回程度」「週3回程度」「週4回程度」「週5回以上」の合計）の割合は、「通所介護（デイサービス）」が48.2%で最も高く、次いで「通所リハビリテーション（デイケア）」が29.6%、「訪問介護（ホームヘルプサービス）」が22.0%となっている。

【図表 5-1-3 令和7年8月の介護保険サービス利用状況（利用の有無）】



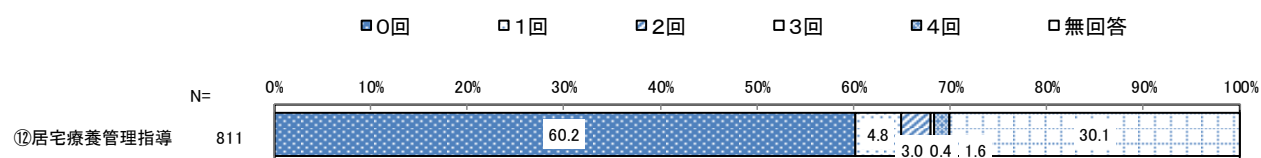
令和7年8月の介護保険サービス利用状況（利用の有無）をみると、「利用した」の割合は、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が9.0%、「小規模多機能型居宅介護」が3.5%、「看護小規模多機能型居宅介護」が1.8%となっている。

【図表 5-1-4 令和7年8月の介護保険サービス利用状況（1か月あたりの利用日数）】



令和7年8月の介護保険サービス利用状況（1か月あたりの利用日数）をみると、「短期入所生活介護、短期入所療養介護（ショートステイ）」は、「0回」が61.7%と最も高く、次いで「1～7日」が8.4%、「8～14日」が2.2%となっている。

【図表 5-1-5 令和7年8月の介護保険サービス利用状況（1か月あたりの利用回数）】

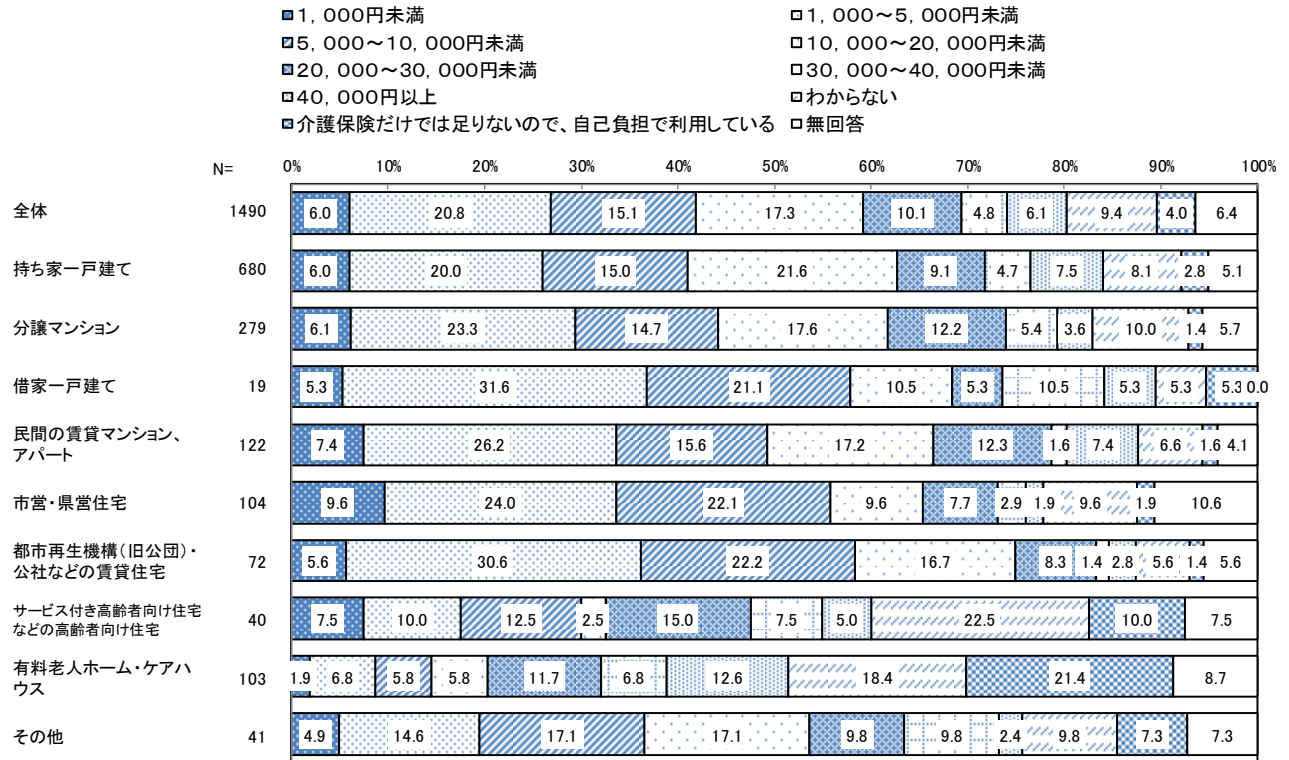


令和7年8月の介護保険サービス利用状況（1か月あたりの利用回数）をみると、「居宅療養管理指導」は、「0回」が60.2%と最も高く、次いで「1回」が4.8%、「2回」が3.0%となっている。

(2) 1 か月あたりの利用料金

問 17 1 か月あたりに支払っている介護保険サービスの利用料金（1 割、2 割または 3 割負担）はおいくら程ですか。（○は 1 つ）

【図表 5-2-1 1 か月あたりの利用料金×居住形態別】



1 か月あたりの利用料金は、「1,000～5,000 円未満」が 20.8%と最も高く、次いで「10,000～20,000 円未満」が 17.3%、「5,000～10,000 円未満」が 15.1%となっている。

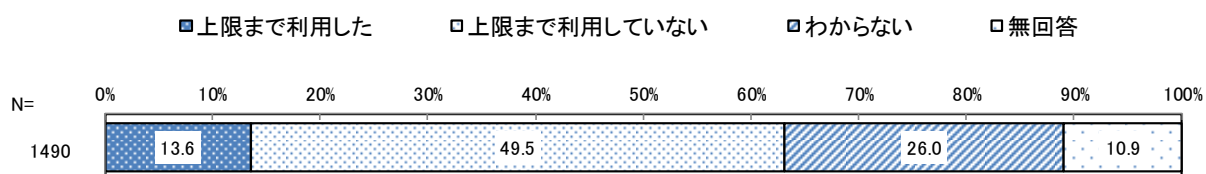
居住形態別にみると、有料老人ホーム・ケアハウスでは「介護保険だけでは足りないので、自己負担で利用している」（21.4%）が最も高くなっている。借家一戸建て、都市再生機構（旧公団）・公社などの賃貸住宅では「1,000～5,000 円未満」が 3 割強で比較的高くなっている。

(3) 利用額上限までの利用

①利用額上限までの利用の有無

問 18 令和7年8月の介護保険サービスの利用額について制度上利用できる上限まで利用しましたか。(○は1つ)

【図表 5-3-1 利用額上限までの利用の有無】



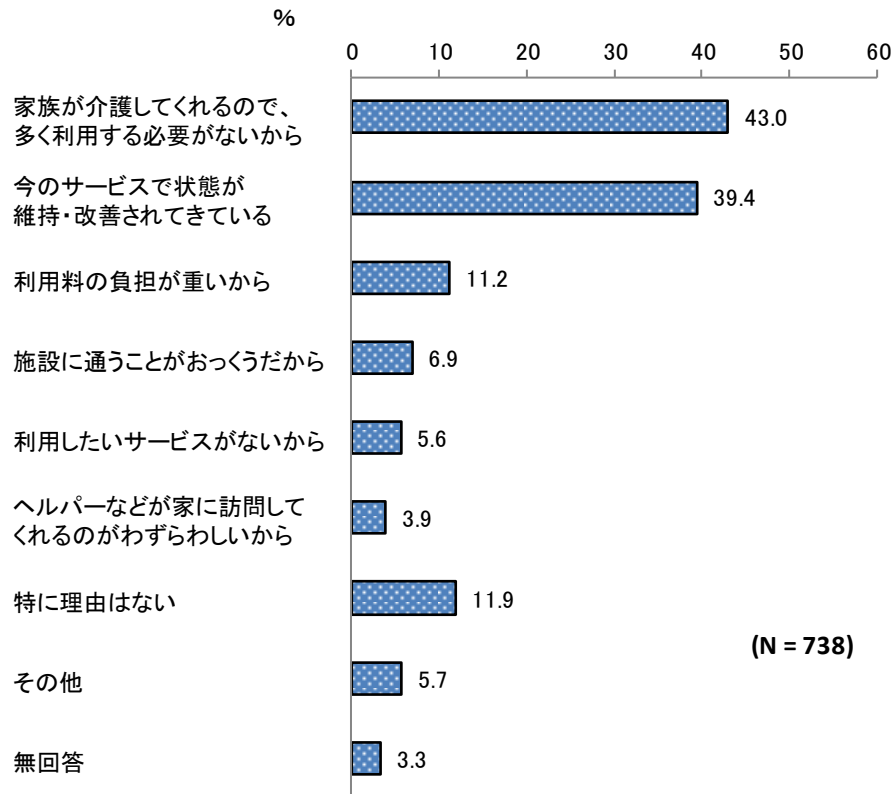
介護保険サービスの利用状況は、「上限まで利用していない」が 49.5%と最も高く、次いで「わからない」が 26.0%、「上限まで利用した」が 13.6%となっている。

②利用額上限まで利用していない理由

問 18 で「2」と答えた方にうかがいます。

問 18－1 上限まで利用していない理由は何ですか。(○は2つまで)

【図表 5-3-2 利用額上限まで利用していない理由】



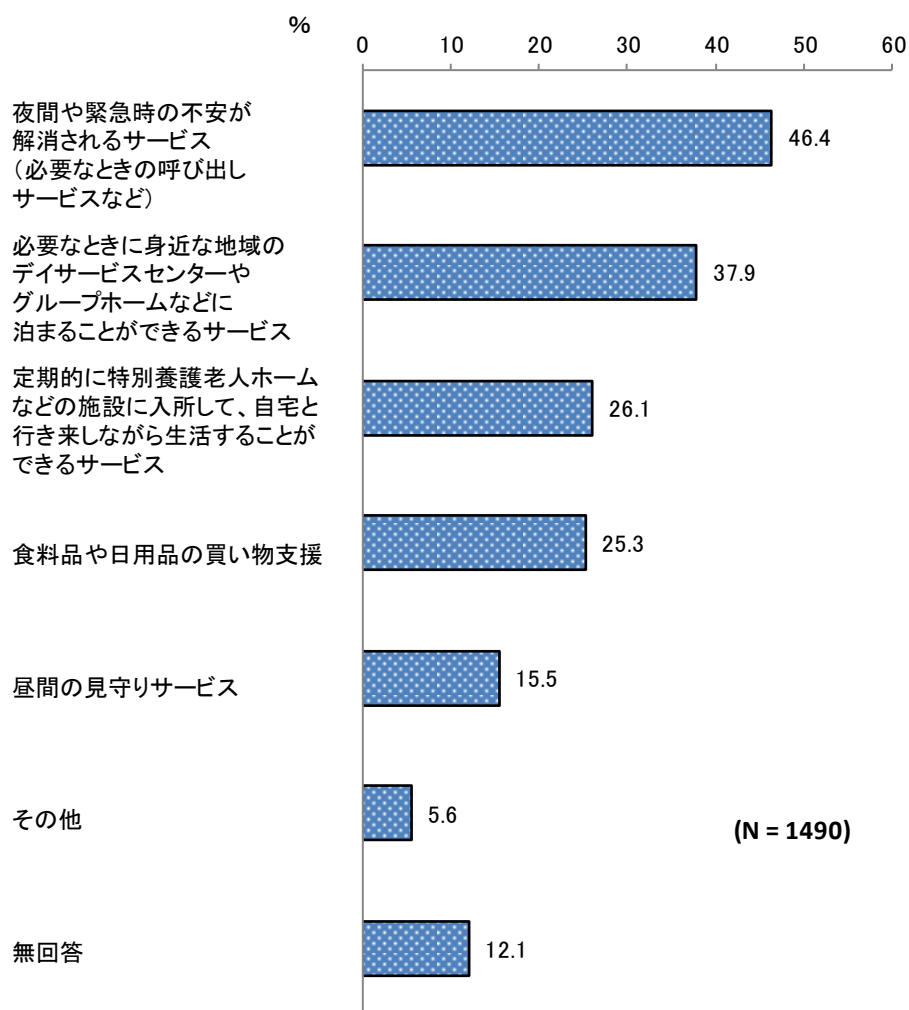
利用額上限まで利用していない理由は、「家族が介護してくれるので、多く利用する必要がないから」が 43.0%と最も高く、次いで「今のサービスで状態が維持・改善されてきている」が 39.4%、「利用料の負担が重いから」が 11.2%となっている。なお、「特に理由はない」が 11.9%となっている。

2. 今後の介護・医療について

(1) 在宅生活で必要性が高いサービス

問 26 あなたが在宅で生活するために、必要性が高い（利用したい）と思うサービスは何ですか。（〇はいくつでも）

【図表 5-4-1 在宅生活で必要性が高いサービス】



在宅で生活するために必要性が高いと思うサービスは、「夜間や緊急時の不安が解消されるサービス（必要なときの呼び出しサービスなど）」が 46.4%と最も高く、次いで「必要なときに身近な地域のデイサービスセンターやグループホームなどに泊まることができるサービス」が 37.9%、「定期的に特別養護老人ホームなどの施設に入所して、自宅と行き来しながら生活することができるサービス」が 26.1%となっている。

【図表 5-4-2 在宅生活で必要性が高いサービス×要介護度別】

(%)										
		回 答 数	ス 夜間や緊急時の不安が解 消されるサービス（必要 など）	ス 昼間の見守りサービ ス	ス 泊まることのできるサー ビス	必要なときに身近な地域 のデイサービスセンター やグループホームなどに 泊まることのできるサー ビス	定期的な特別養護老人 ホームなどの施設に入所 して、自宅と行き来しな がるサービス	食料品や日用品の買 い物支援	そ 他	無 回 答
全 体		1490	46.4	15.5	37.9	26.1	25.3	5.6	12.1	
要 介 護 度 別	要支援1	269	42.4	12.6	31.2	17.8	35.3	6.3	13.4	
	要支援2	274	47.1	13.1	36.1	22.6	31.8	4.4	12.4	
	要介護1	335	47.5	22.4	46.0	29.3	23.0	4.8	7.2	
	要介護2	248	48.0	13.3	37.1	26.2	21.4	4.8	14.1	
	要介護3	147	44.9	12.9	42.9	40.8	14.3	7.5	6.8	
	要介護4	95	53.7	20.0	44.2	32.6	22.1	9.5	7.4	
	要介護5	54	61.1	20.4	35.2	22.2	18.5	9.3	14.8	
	わからない	26	30.8	7.7	23.1	19.2	23.1	3.8	30.8	

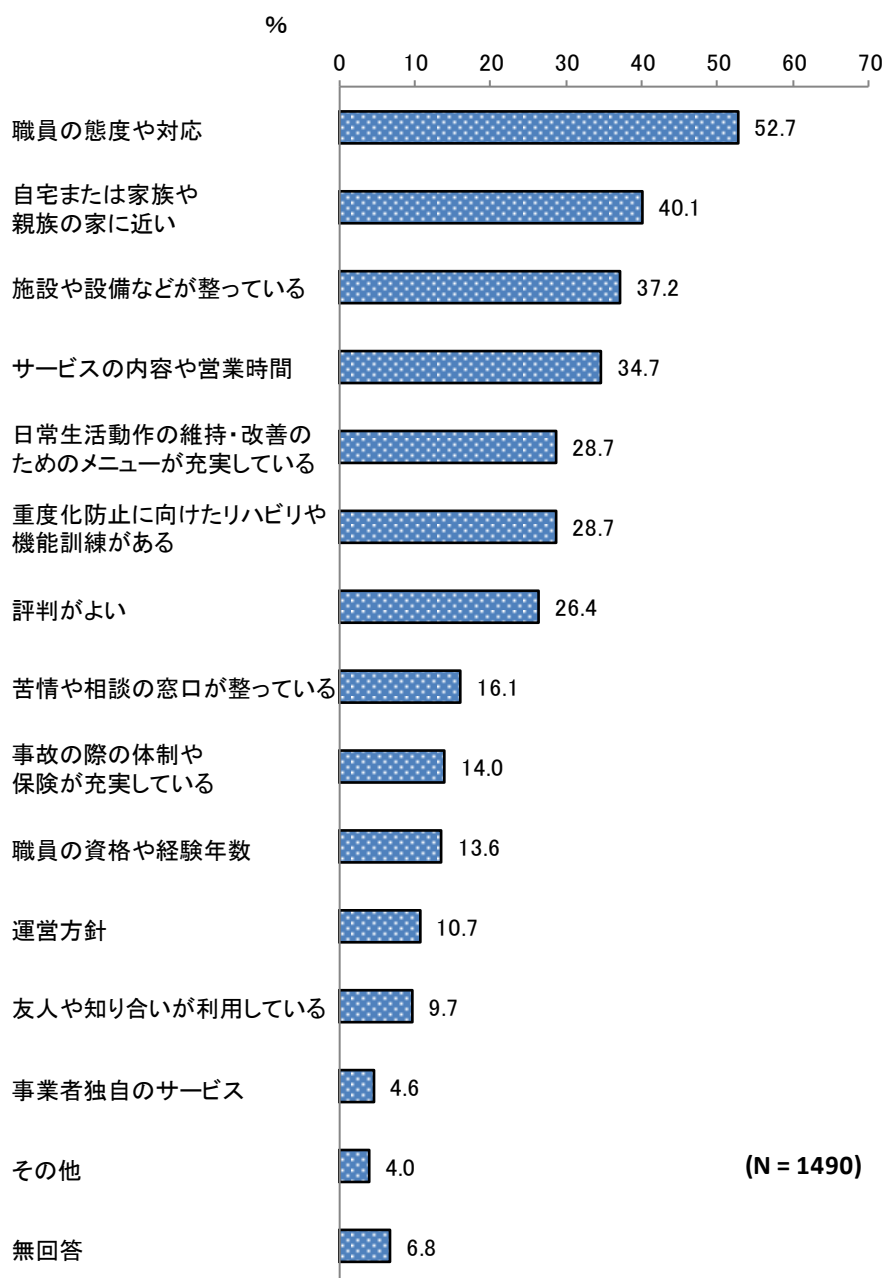
要介護度別にみると、要介護4、5では「夜間や緊急時の不安が解消されるサービス（必要なときの呼び出しサービスなど）」が5割を超え、他と比べて高くなっている。要介護1では「必要なときに身近な地域のデイサービスセンターやグループホームなどに泊まることのできるサービス」（46.0%）が比較的高くなっている。

3. 介護保険制度全般について

(1) 介護サービス事業者を選ぶ際に重視すること

問 32 介護サービス事業者を選ぶとき、特にどのようなことを重視して選びたいと思いますか。(〇はいくつでも)

【図表 5-5-1 介護サービス事業者を選ぶ際に重視すること】

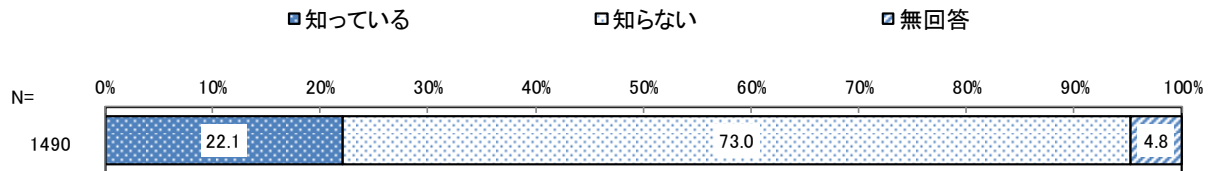


介護サービス事業者を選ぶ際に重視することは、「職員の態度や対応」が 52.7%と最も高く、次いで「自宅または家族や親族の家に近い」が 40.1%、「施設や設備などが整っている」が 37.2%となっている。

(2) 小規模多機能型居宅介護の認知度

問 34 小規模多機能型居宅介護というサービスを知っていますか。(○は1つ)

【図表 5-6-1 小規模多機能型居宅介護の認知度】

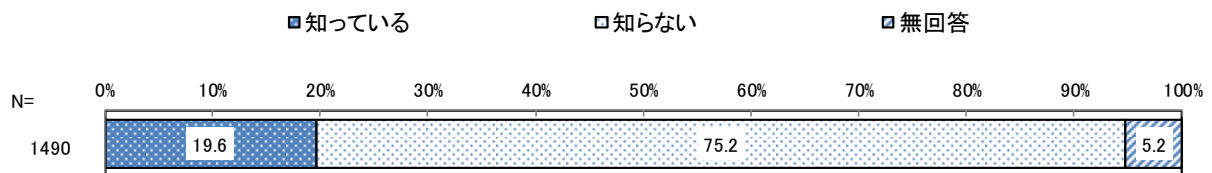


小規模多機能型居宅介護の認知度は、「知っている」が22.1%、「知らない」が73.0%となっている。

(3) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスの認知度

問 35 定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスを知っていますか。(○は1つ)

【図表 5-7-1 定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスの認知度】



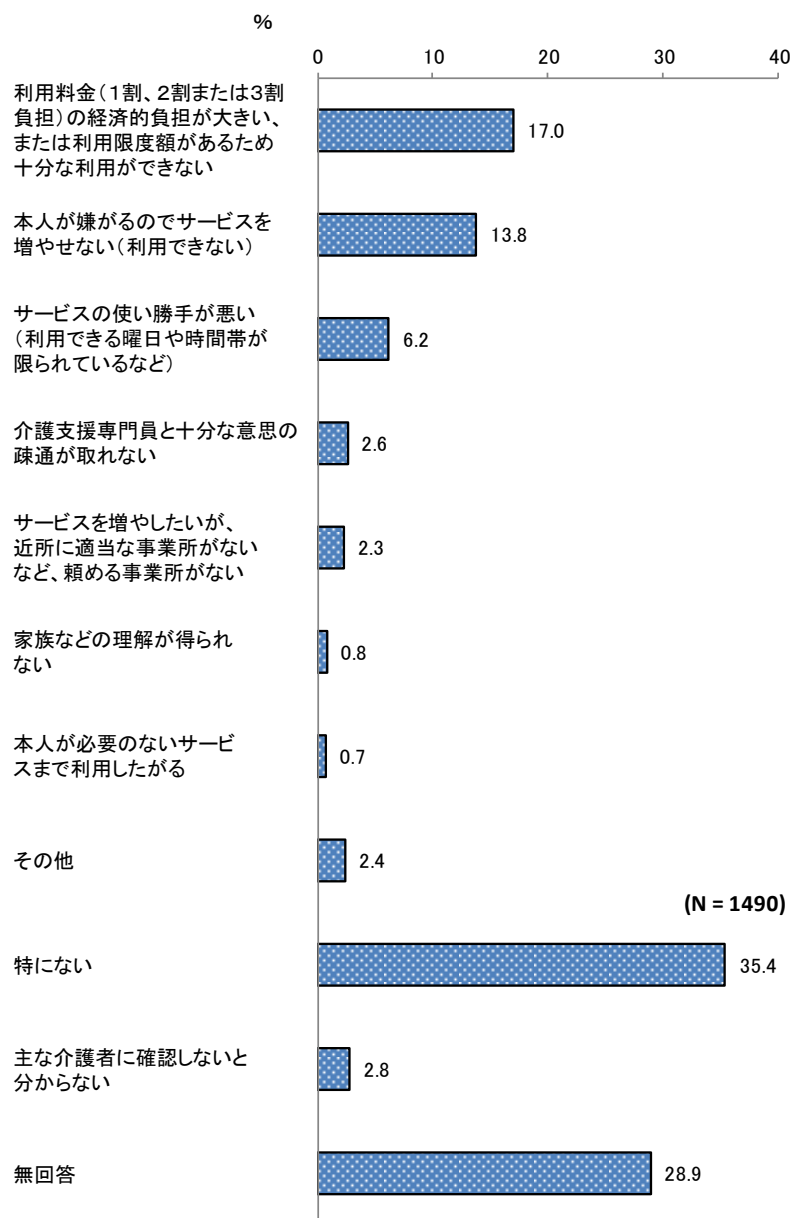
定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスの認知度は、「知っている」が19.6%、「知らない」が75.2%となっている。

4. 家族の回答

(1) 介護保険サービスを利用する上で困っていること

問 46 介護保険サービスを利用する上で困っていることは何ですか。(○はいくつでも)

【図表 5-8-1 介護保険サービスを利用する上で困っていること】



介護保険サービスを利用する上で困っていることは、「利用料金（1割、2割または3割負担）の経済的負担が大きい、または利用限度額があるため十分な利用ができない」が17.0%と最も高く、次いで「本人が嫌がるのでサービスを増やせない（利用できない）」が13.8%、「サービスの使い勝手が悪い（利用できる曜日や時間帯が限られているなど）」が6.2%となっている。なお「特になし」が35.4%となっている。